

令和7年度 第2回豊田市公設地方卸売市場運営審議会 会議録

- 日 時 令和8年3月13日（金） 午後1時30分～2時30分
- 場 所 豊田市公設地方卸売市場 大会議室
- 出席者
- 【委 員】
- 池田 誉生 （愛知県中央青果株式会社 代表取締役社長）
糟谷 勝商 （豊田青果水産商業協同組合 理事長）
柴田 宗典 （仲卸協同組合 理事長）
庄司 由夏 （トヨタ生活協同組合 総務人事部
総務・広報・組合員サービス室 担当員）
都築 保彦 （豊一豊田青果株式会社 代表取締役社長）
徳田 博美 （名古屋大学大学院 生命農学研究科 教授）
中村 重敏 （豊田魚市場株式会社 代表取締役専務）
永田 康男 （宮口一色自治区 前区長）
成田 寛之 （あいち豊田農業協同組合 営農生活部 次長）
丹羽 亮介 （豊田商工会議所 中小企業相談所 所長）
- 【事務局】
- 疋田 一男 （農政企画課長）
須賀 祥一郎（卸売市場長） ほか
- 欠席者
- 【委 員】
- 梅村 長史 （JAあいち豊田 梨部会 部会長）
森 安孝 （JAあいち豊田 桃部会 部会長）
- 次 第
- 1 開会
 - ・徳田会長あいさつ
 - 2 議題等
 - ・これまでの経緯
 - ・豊田市公設地方卸売市場再整備基本計画（案）【概要】について
 - （1）卸売市場の目指す姿（将来像）
 - （2）整備方針及び目標値
 - （3）導入する主要な機能
 - （4）施設規模
 - （5）土地利用計画
 - （6）想定される事業手法と事業スケジュール
 - （7）余剰地の活用
 - （8）市場再整備後の管理運営方法
 - ・その他
 - 3 閉会

■議題等 （議長：徳田博美会長）

議長：はじめに、「これまでの経緯について」事務局から説明願う。

事務局：「これまでの経緯について」を説明。

議長：続いて、「豊田市公設地方卸売市場再整備基本計画（案）についての報告」を、事務局から説明願う。

事務局：「豊田市公設地方卸売市場再整備基本計画（案）についての報告」を説明。

委員A：買出人が荷の積み込みができる、屋根のあるスペースを整備する想定はあるか。また、駐車場には屋根が整備されるのか。

事務局：現市場施設と同様に各施設に長い庇を整備し、買出人も荷物の積込スペースとして利用できる予定である。しかし、駐車場には、屋根を整備しない想定をしている。

委員B：建設工事の着工時期は、このスケジュールで決定なのか。

事務局：決定ではない。採用される事業手法によって変わってくるし、今後行う基本設計時における場内事業者との調整次第で、変わる可能性がある。

委員B：少しでも早く事業を推進できればと思う。

市場内には、外部からのごみや廃棄パレット等の持込みなど、ごみ処理に関する問題や喫煙場所以外での喫煙等、様々な問題がある。市場再整備に向け、市場内の運営ルールを徹底する必要がある。

事務局：市場で一丸となって取り組まなければならない問題であると考えており、改めて、場内事業者を交えて運営ルールを検討していきたい。

委員C：市場開放を年5回されているが、その際の渋滞が問題であると思う。渋滞緩和のため、市場への入口を増やしてほしい。市場近隣の住宅開発が進んでいる状況もあり、新しい住民も来場しやすいよう、交通動線を検討するべきである。

事務局：現在の想定では、市場の出入口については複数設ける予定である。交通への影響も考慮しながら、引き続き検討していく。

委員D：各施設の平面プランを検討できるよう、早めに部門別に会議の場を設定していただきたい。

事務局：各施設の平面プランについては、すでに部門別の会議で検討しているところである。今後の設計段階においても継続して検討していく。

委員A：施設使用料の上昇が想定されるが、そうなった場合、場内事業者が撤退する懸念が出てくるが、入場継続意向を確認しているか。これ以上、場内事業者が減少すると満足に仕入れもできなくなり、小規模な小売店などには影響が大きい。再整備の際は、新規事業者の参入に向けて検討してもらいたい。

事務局：今後の協議事項ではあるが、施設使用料は少なからず上がる想定である。場内事業者には、新市場への入場可否等に関する現時点での意向は確認済である。今後も適切な時期に、再度意向確認を行う。

また、新市場となることにより、新規事業者の参入も期待できると思う。山間

部の小売業や住民の暮らしを支えるといった点は、豊田市場の存在意義でもあるため、新規事業者の参入を獲得していきたい。委員の皆様にも、情報提供などご協力をお願いしたい。

委員 E：多くの市民の来場を望むのであれば、余剰地については商業施設やイベント広場などのエッセンスを加えるなど、集客を意識した活用方法を検討する必要があると思う。

委員 B：ハイウェイオアシスや鞍ヶ池公園のような、家族を巻き込んだ集客ができるような展開が良いのではないかと。また、南バイパスの開通などで市場周辺の交通アクセスもさらに良くなるため、トラックドライバーの休憩施設などもニーズがあると思う。

委員 F：建物がいくら良くなっても、取り扱う商品が貧弱ではどうしようもないとの意見もある。我々も良い商品を取り扱えるよう努力していくが、市場の再整備においても、そういった商品が劣化しない施設や設備ができると良い。

議長：市場再整備という点では、ハード面及びソフト面の両面からの検討が非常に大切である。具体的なハード設計の段階においては、場内事業者が考える営業や運用方法など、ソフト面の対策も考慮した検討を進めていく必要がある。そのためには、市場再整備の推進に当たり、場内事業者と密に調整や協議を重ねながら検討を進めるプロセスを取ることが望ましい。

議長：最後に「その他について」、事務局から説明願う。

事務局：「今後のスケジュールについて」、「委員の改選について」を説明。

議長：他にないようなので、これで本日の審議会を終了する。

～ 議事終了 ～